

原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録

1. 日時：平成 23 年 10 月 17 日(月) 12:00-13:00

2. 場所：京都大学原子炉実験所 図書棟会議室

3. 出席者（敬称略、順不同、所属無記載は京大炉）

海老原充（首都大学東京）、福本 学（東北大学）、田崎誠司（京都大学）、堀 史説（大阪府立大学）、堀 均(徳島大学)、増永慎一郎、徐 虬、小野公二、川端祐司、高宮幸一、田中浩基、堀 順一、櫻井良憲、杉山正明、北尾真司、大川久美子

4. 配付資料

- ・原子炉利用研究者グループ幹事会 議事次第
- ・原子炉利用研究者グループ総会 議事録（H23.3.4）

5. 議事（所属無記載は京大炉）

始めに、代表幹事（首都大 海老原氏）により開会の挨拶と前回の議事録の説明があった。

議題 1) 宿舍テレビ地デジ化対応について

共同利用者宿泊所のテレビを地デジ化対応にすべきとの高宮氏からの提案に対して費用を調査した結果、地デジの配線は各階に来ているが、チューナー代と各部屋の工事代を合わせると 30～40 万かかることが分かり、利用者グループの予算から費用を捻出することについては議論が十分でないため、今年度は保留にして次年度に結論を持ち越すことにした。当面は、地デジ対応済みの 2 階の大部屋のテレビで見てもらうようお願いするとの報告があった（増永氏）。

また議題 1 に関連して、共同利用者宿泊所の 2 階の大型冷蔵庫は各部屋に冷蔵庫があるので不要であり節電の観点から廃棄すべきとの共同利用掛からの提案に対し、利用グループ幹事にアンケートを取った結果、廃棄することになったとの報告があった（増永氏）。

これに対し、共同利用者からは大部屋ではチャンネルを選べないので、各部屋にあった方がよいという意見があるとのコメントがあった（高宮氏）。

宿舍の費用は本来、実験所が出すべきものではないのか（東北大 福本氏）という質問に対し、実験所としては共同利用の予算が少なく共用のテレビのみしか対応できないので、利用者グループから出してほしいと回答されたとのコメントがあった（増永氏）。テレビはもともと実験所が設置したものであるので共同利用で対処するよう要望してほしいとの意見があった（首都大 海老原氏）。

議題2) 原子炉利用研究者グループ会員活動について

共同利用に対して要望があれば幹事から要望を出してほしいとの依頼に対し、以下の2点の要望があった(大阪府大 堀氏)。

要望1. ホットラボの共同利用控室がセミナー室になり、共同利用者の使える場所が少なくなった。特に医療照射の時はホットラボの控室が使用できないので改善してほしい。

要望2. ネットワークを利用したい時に、共同利用掛での申請の手続きに時間がかかるのを改善してほしい。また、共用で使えるパソコンも控室がセミナー室になったためになくなったが、また設置してほしい。

要望1 に対しては、医療照射時の控室については患者さん用の別室を整備中であるため改善する予定があるとの報告があった。(増永氏、小野氏)

セミナー室は控室として使用してよいのか(首都大 海老原氏)という質問に対し、共同利用の人材育成の名目であるが、普段は使っていないのではないかと(高宮氏)という意見や、あくまでセミナー室なので休憩室としては使いにくい(杉山氏)とのコメントがあった。

控室は研究棟やトレーサー棟にもあるが、場所が狭く何グループも使えないので控室を充実させるべきである(首都大 海老原氏ほか)との意見に対し、場所の確保が難しいが、控室が足りないという要求は出していく(川端氏)とのコメントがあった。

要望2 に対しては、ネットワークの設定は簡単な手続きがあるのでそれを周知する方法もあるとの提案があった(高宮氏)。また、SPRING-8 や KEK のように事前にネットワークの手続きを申請できるようにしてもよいのではないかとという提案があった(大阪府大 堀氏)。

議題3) 複合原子力科学推進小委員会関係の進捗状況について

実験所の将来計画についての概略の説明があり、学術会議の評価も良好であるため、予算の確保に向けて概算要求を継続していく旨の説明があった(川端氏)。

それに対し、利用者としても期待しているとのコメントがあった(首都大 海老原氏)。

議題4) その他の報告事項

利用者グループの予算を使用して、トレーサー棟の共同利用休憩室のゴミ箱の整理と、コーヒー等のための浄水器の設置をしたとの報告と、幹事会の資料の印刷は大久保氏のプリンターを使用しているため、トナー代を利用者グループの予算から負担することがありうるとの報告があった(増永氏)。

最後に、代表幹事(首都大 海老原氏)による閉会の挨拶により閉会した。

文責：北尾真司、田中浩基、堀 順一